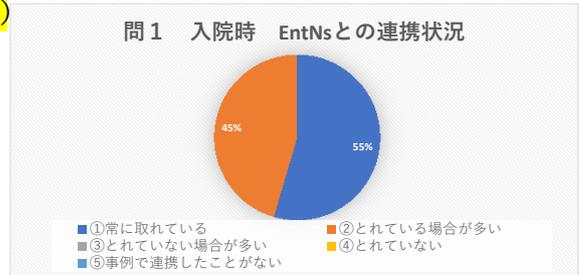


資料2-2 医療ソーシャルワーカー回答結果 (R3.2.12 現在)

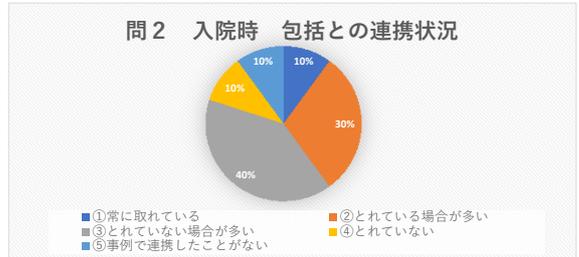
問1 入院時と退院調整看護師との連携状況 (n=11)

①常に取れている	6
②とれている場合が多い	5
③とれていない場合が多い	
④とれていない	
⑤事例で連携したことがない	



問2入院時と地域包括支援センターとの連携状況 (n=10)

①常に取れている	1
②とれている場合が多い	3
③とれていない場合が多い	4
④とれていない	1
⑤事例で連携したことがない	1



問2-1 ③, ④と回答した方のみ 複数回答

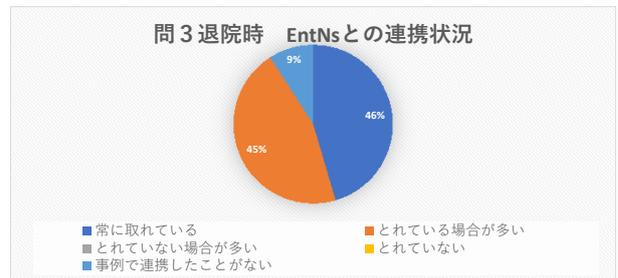
連携のための連絡調整に時間がかかる	
連携するための本人情報やアセスメントが不足している	3
コミュニケーションが取りにくい	
協力的な姿勢や対応が得にくいことがある	2
支援業務の役割、範囲が曖昧で分りにくい	2
その他	



問2-2 問2-1で6と回答その他自由記載センターによる

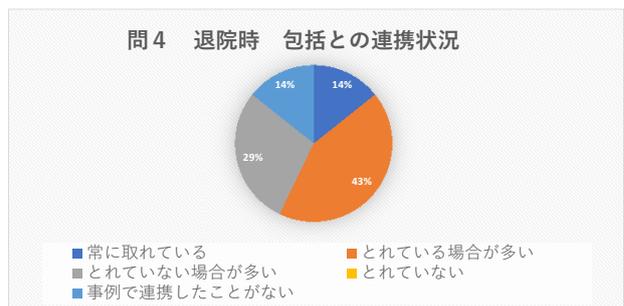
問3 退院時退院調整看護師との連携状況 (n=11)

常に取れている	5
とれている場合が多い	5
とれていない場合が多い	
とれていない	
事例で連携したことがない	1



問4 退院時地域包括支援センターとの連携状況 (n=7)

常に取れている	1
とれている場合が多い	3
とれていない場合が多い	2
とれていない	
事例で連携したことがない	1



問4-1 ③, ④と回答した方のみ

連携のための連絡調整に時間がかかる	
連携するための本人情報やアセスメントが不足している	
コミュニケーションが取りにくい	
協力的な姿勢や対応が得にくいことがある	1
支援業務の役割、範囲が曖昧で分りにくい	1
その他	

問4-2 問4-1でその他と回答その他自由記載
センターによる

問5 今後、退院調整看護師、地域包括支援センターとどのような連携が必要と考えますか（自由記述）

この1～4の間にある地域包括支援センターと連携が必要な事例の解釈が、個人の主観で異なっている気がします。虐待、要支援ケース、単身独居、身寄りなし等、包括支援センターで特化して対応するケースが明確であれば、連携する目的も明らかになり、良質な情報共有、協働支援につながると思います。「SWと退院調整看護師の連携が必要な事例」についても、どのような場合に連携した方がいいかは、各医療機関で異なるので、その認識の差異について調査が必要かと思います。①チームとして一緒に働く連携、②ネットワークとして情報共有のもと見守る連携、この2つの違いを意識して業務を行う人材育成が必要です。

連携という言葉で、押し付けあいにならないよう役割を確認した上で支援していくことが必要だと思います。